

Nagasaki Peace Volunteer 2023



青少年ピースボランティア育成事業
令和5年度 活動報告書

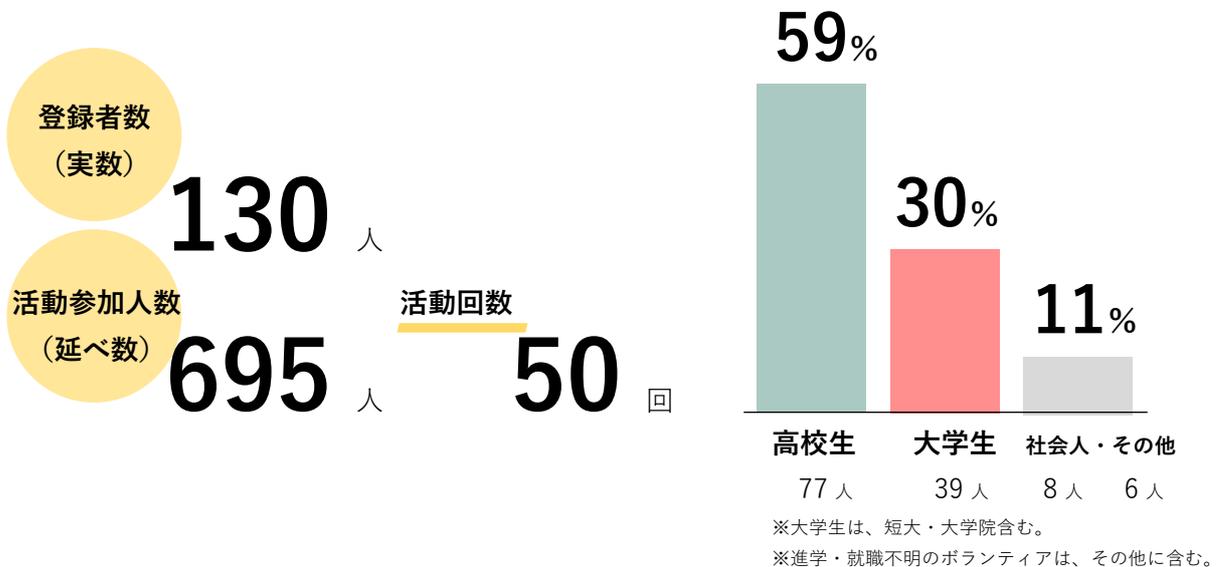
青少年ピースボランティアは 長崎の被爆の実相や平和の大切さを学び 平和を発信するボランティアです。

青少年ピースボランティア育成事業は、長崎市が平成 14 年度から 15 歳(中学校卒業)以上 30 歳未満の青少年を対象に実施しています。青少年が被爆の実相や戦争について学び、様々な視点から平和について考え、行動することにより被爆体験の継承と平和意識の高揚を図ることを目的としています。

なお、令和元年度より、長崎市から委託を受け（公財）長崎平和推進協会が実施しています。

■令和 5 年度登録者：130 人（令和 6 年 3 月現在）

【内訳】 高校生：77 人 大学生（短大・大学院含む）：39 人 社会人：8 人 その他：6 人
※進学・就職について不明のボランティアについては、その他としています。



■活動内容

毎月の学習会や毎年 8 月 8 日、9 日に実施するイベント「青少年ピースフォーラム」の企画・準備、各イベントの司会進行や運営補助などを行っています。

その他、平和関連イベントへの参加や講座の聴講、自主企画活動、県外研修なども実施。

詳細は「令和 5 年度 活動実績」(P.13,14)参照。

今年度は市内学校での出前講座の依頼等も増えた他、初めて宮城県・福島県での研修を行いました。また、学習会を可能な限りオンライン併用で実施し、進学・就職などで県外に住むメンバーも多くの活動に参加。様々な視点から長崎原爆について見つめ直す機会も多くなりました。

自主企画では広島研修をきっかけに新たに「被爆樹木」チームが始動しました。

年間スケジュール

学ぶ



考える



発信する



交流する



深める



4

オリエンテーション

被爆体験講話

長崎原爆資料館見学

5

被爆建造物等フィールドワーク

6

青少年ピースフォーラム 準備開始

意見交換

7

フィールドワークガイド実践

学校等への出前講座

8

青少年ピースフォーラム … p.5

平和祈念式典ボランティア (台風のため中止)

平和学習発表会のサポート

9

平和関連イベントでボランティア

市民大行進への参加・サポート

10

他団体・他地域との交流

11

県外研修 ①広島 … p.7

12

ピースボランティア自主企画

核・原爆・戦争などについての講座

学習会・イベント

1

県外研修 ②福島 … p.9

2

1年間の振り返り

県外研修報告

3

新年度準備

ボランティア説明会では、フリートークの時間も設けました。



被爆体験講話

11歳で被爆した松尾幸子さんの講話を聴講。家は全焼、家族を何人も亡くし、それでも何とか乗り越え、語り続ける松尾さんの人生の一端に触れました。



フィールドワーク

平和案内人のガイドで平和公園/浦上天主堂/山王神社の3コースにわかれて学習。夏には自分たちがガイドをする側になるため、みんな真剣です。



国連軍縮週間にあわせて開催される市民大行進でゼッケンや飲料、バルーンリリース用の風船などの配布をお手伝いしています。



11月には広島研修を実施 (p.7)



北九州市の学生と交流

SPRING 春

オリエンテーション 長崎原爆についての学習

4月には対面とオンラインのハイブリット方式でボランティア説明会を開催。新しいメンバーと共に、新年度のスタートを切りました。

5月からは長崎原爆についての学習を開始。原爆資料館の見学や被爆体験講話の聴講、被爆建造物等のフィールドワークを行い、長崎原爆についての理解を深めました。

学び、考える

AUTUMN 秋

イベントや交流を通して、 被爆地ナガサキを発信

夏を乗り越えた後は、県外研修(pp.7-10)や市民対象のイベントなどの補助を行いました。

10月の市民大行進にあわせて長崎を訪れた北九州市の学生さんたちと食事をしながら交流会も実施し、お互いに良い刺激となりました。

11月には広島で複数の団体と交流しました。

SUMMER 夏

青少年ピースフォーラム^{p.5} に向けての企画・準備

6月には例年8月8日・9日に開催される「青少年ピースフォーラム」に向けての企画・準備を本格的に始めます。

司会原稿の作成やフィールドワークのガイド練習、原爆の説明や戦時下の疑似体験プログラムづくり、意見交換の企画や進行練習など多岐にわたる作業を急ピッチで進めます。



学習会や活動日以外にも、有志で自主練習を行ったり、オンラインで打ち合わせをしたりしています。



ピースボランティア同士で、フォーラム本番と同じテーマでの意見交換を実践。

発信、行動する

WINTER 冬

核兵器、戦争、平和 様々な視点から見つめる

多数の講義や交流会を通して、様々な地域・立場から戦争や核について学び、自身の考えを深めました。学習を通して、目指すべき“平和”とはなにか、考え続けています。

今年は、ICAN 事務局長のメリッサ・パーク氏の長崎での講演を聞き、意見交換をする機会にも恵まれました。

核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)事務局長メリッサ・パーク氏が来日。講演会とあわせ、被爆者やピースボランティアら若い世代との交流の時間を設け、意見を交わしました。



2月にはピースボランティアとして初めて福島研修を実施。(p.9)



被爆者が開催する市民対象碑めぐりでは、参加者として学びつつ、サポートとしても活躍。



8 / 8 (火) ・ 8 / 9 (水) 開催

青少年ピースフォーラム

毎年8月9日の平和祈念式典にあわせて全国の自治体が派遣する平和使節団の青少年と、地元長崎の青少年とが一緒に被爆の実相や平和の尊さを学びます。

フォーラムは、通常8日、9日の2日間にわたって開催され※、青少年ピースボランティアが参加型平和学習を企画し、当日の進行も担います。今年度は4年ぶりに、夕食を共にしながらの交流会も復活。「現地で学び、集って学ぶ」意義を改めて感じました。

※台風6号接近のため9日に予定していた平和祈念式典参列や意見交換等の日程は全て中止。

また、フォーラムへの参加を予定していた37自治体のうち、参加できたのは12自治体のみとなった。

R5プログラム 【台風の影響で8日のみ】

8 / 8 は A コース ・ B コース にわかれて実施。

共通：開会行事…長崎市長挨拶、被爆体験講話等

A コース：室内学習

長崎原爆・核兵器についての学習、戦時下の疑似体験、こぢんまりフィールドワーク

B コース：フィールドワーク(コース別)

平和公園／浦上天主堂／山王神社の3コース

夜：夕食交流会を開催。(希望自治体のみ)

8/9 のプログラムは台風接近のため中止。

開会行事

▽鈴木史朗長崎市長にもご挨拶いただき、ピースボランティアの開会宣言で開幕しました。



▽被爆体験講話の講師は築城昭平さん(96歳)。PC操作などはピースボランティアがサポート。



Aコース

▽こぢんまりフィールドワークでは、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の他、長崎原爆資料館敷地内の碑などをピースボランティアが案内します。



△室内学習では、原爆や核について説明するほか、令和4年に新たに企画したプログラム「戦時下の疑似体験」を実施。

Bコース

▽雨の中、平和公園コースと浦上天主堂コースは、原爆落下中心地にも足を運びました。山王神社コースは遺構の残る長崎大学医学部も訪問しました。



8月9日(中止)

例年は8/9に平和祈念式典への参列や、意見交換会を実施し、地域をこえて「平和」について話し合います。



※写真は令和4年度の様子

参加自治体

12 自治体

参加者(引率含まず)

163 人

ピースボランティア

60 人

※台風6号接近に伴い、不参加となった自治体
25自治体・212人

袋町小学校平和資料館。

被爆直後から被災者の救護所として利用された西校舎内の壁面には、被爆者の消息などを知らせる「伝言」が数多く記され、現在も残っています。

11/3~11/5

広島研修

同じ被爆地である広島で、改めて被爆の実相を学びました。今回の研修では、「交流」にも重点を置きました。現地の平和活動団体等との対話を通して、新しい発見もあり、今後の活動に役立つ研修となりました。今年は行程を2泊3日に延ばすことができたため、見学時間や訪問箇所が大幅に増えました。

研修後、参加者は「刺激いっぱい3日間だった」「この経験を次に活かす活動を考えていきたい」と話していました。

訪問先など

- ・袋町小学校平和資料館
- ・国立広島原爆死没者追悼平和祈念館
- ・被爆体験講話
- ・広島平和記念資料館
- ・平和記念公園・レストハウス
- ・Social Book Cafe ハチドリ舎
- ・特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima
- ・広島城周辺の被爆樹木



広島平和記念資料館



国立広島原爆死没者追悼平和祈念館



平和記念公園



レストハウス



Social Book Cafe ハチドリ舎を訪れ、オーナーであり、「カクワカ広島」(核政策を知りたい広島若者有識者の会)のメンバーでもある安彦恵里香さんにお話を伺いました。カクワカ広島の紹介に加え、“自分でつくること”をコンセプトに人や社会とつながるカフェを始めたきっかけ、ものごとを前に進めるためのマインドなど、ピースボランティアの活動にも重要なアドバイスをいただきました。

特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima に全面協力いただき、代表 渡部朋子さんにお話を伺った後、インターン生らと昼食を共にしながら交流。また、広島城周辺の被爆樹木めぐりのガイドも対応していただきました。参加者は被爆樹木に非常に関心を持った様子で、長崎でも樹木に着目して更に理解を深めたいと話していました。(→p.12)



参加者の声

広島の資料館の展示物の数々は、ひとりひとりがその瞬間まで生きて、生活していたという証で、ひとつひとつにストーリーがあるのだということを強く感じた。

被爆樹木や学童疎開など長崎であまり聞く機会のないお話も聞けてよかった。

核兵器だけでなくあらゆる兵器の廃止に繋がる行動を起こしていきたいと思った。
長崎の政治家の核についての考えを知る、友達や家族とニュースを見ながら核兵器についての話をするといった小さなちょっとしたことから行動に移していきたい。



被爆体験講話
(梶本淑子さん)



Social Book Cafe
ハチドリ舎



ANT-Hiroshima



被爆樹木めぐり



初訪問

2/10~2/12

福島研修

宮城県仙台市、福島県双葉郡・いわき市

震災遺構 請戸小学校：校舎は津波によって破壊されましたが、全員が無事に避難することができた“奇跡の学校”としても知られています。現在は震災遺構として公開されています。



参加者の声

訪問先など

- ・戦災復興記念館（宮城県仙台市）
- ・東日本大震災・原子力災害伝承館
- ・震災経験者の講話・語り部交流会
- ・双葉郡フィールドワーク
- ・震災遺構 請戸小学校
- ・いわき震災伝承みらい館
- ・語り部ガイドツアー（薄磯・豊間地区）

卒業式の準備がされた体育館を見て、起こった事実を決して忘れず繋いでいかなければいけないと思った。

また、東日本大震災で残された家畜たちを餓死・衰弱の苦痛から解放するため殺処分が実施されたと聞き、何とも言えない、とても悔しい思いになった。

核を利用することのリスクと深刻性が非常に高い以上は、核との共存は困難だと思った。原発だけでなく、「核との共存」が何を意味するのかという根幹について、様々なバックグラウンドを持つ人々で一緒に考えなければならないと思う。

負の歴史の“継承”に取り組む地域としての共通点を探ること、「核・原子力」についての学びを深め、核エネルギーそのものの理解を深めることなどを目的に、宮城・福島を訪れました。



戦災復興記念館：仙台空襲を中心に、第二次世界大戦前後の仙台の歴史と戦災・復興の全容が展示されています。

いわき震災伝承みらい館：展示見学のみならず、震災語り部の方の案内でフィールドワークも行いました。



東日本大震災・原子力災害伝承館：地震、津波、原子力災害と未曾有の複合災害を経験した福島の経験と復興、課題について展示されています。

伝承館では、3人の語り部の方と交流し、負の歴史や惨禍を語り継ぐという活動を行う者同士、それぞれの地域での現状や課題を共有しました。また、バスでまちを巡るフィールドワークプログラムもご提供いただきました。

原子力災害という目に見えない被害が福島を長期的に苦しめていることを知った。また、廃棄物の処理に関する先行きが不透明であることを改めて認識できた。

“原発で雇用が増え街も活性化していた”“事故は起きないものと思っていた”という話を聞き、福島に限らず社会課題において、良い面と悪い面が表裏一体だと感じた。



語り部交流会



震災経験者による講話

長崎市立桜馬場中学校での出前講座。今年は講座やガイドなど合計7件の依頼をいただきました。



長崎市立淵中学校での出前講座



ピースアクション in ナガサキでのガイド

出前講座

長崎市内の小・中学校などへ赴き、原爆や核兵器・平和に関する出前講座を行っています。

今年度は**6件の出前講座依頼**と、**1件のガイド依頼**がありました。今年、原爆や核、世界の戦争や“平和”について、どのように発信すべきか何度もミーティングを行い、様々な工夫を凝らしました。

思いを持つだけでなく、思いを行動で示していこうと思った。

自分にできること、好きなことや得意なことでも平和を伝えられたらいいなと思った。

核兵器の数を音で感じるのは初めてで驚いた。世界の現状や戦争について知らないことを知れた。

今の自分にも、小さなことを変えることはできる、それに気づくことができた。

平和関連イベントでの活動



“若者による平和ネットワーク構築プログラム”でのサポート
Nagasaki Youth Peace Network Program

毎年 8/9 の平和祈念式典で水やおしぼり配布を担当したり、平和映画祭や弁論大会、海外留学生向けのイベントでのアテンドを担当したりと様々な場で活躍しています。



長崎市内の中学生が一堂に会し、日頃取り組んでいる平和学習の成果を発表しあう「平和学習発表会」。ピースボランティアは司会や進行補助を務めました。



R5年の長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典が台風の影響で屋内開催となり、一般参列も中止となりました。写真はR4年の様子。

自主企画

広島研修で被爆樹木めぐりをしたことをきっかけに、長崎の被爆樹木についても改めて学び、“歴史の証言者としての樹木”について広めたいと提案がありました。

早速、有志のメンバーで長崎市の被爆樹木を管理されている樹木医の方にお話を伺いました。樹木1本1本に歴史があり、保全方法についても考えさせられました。



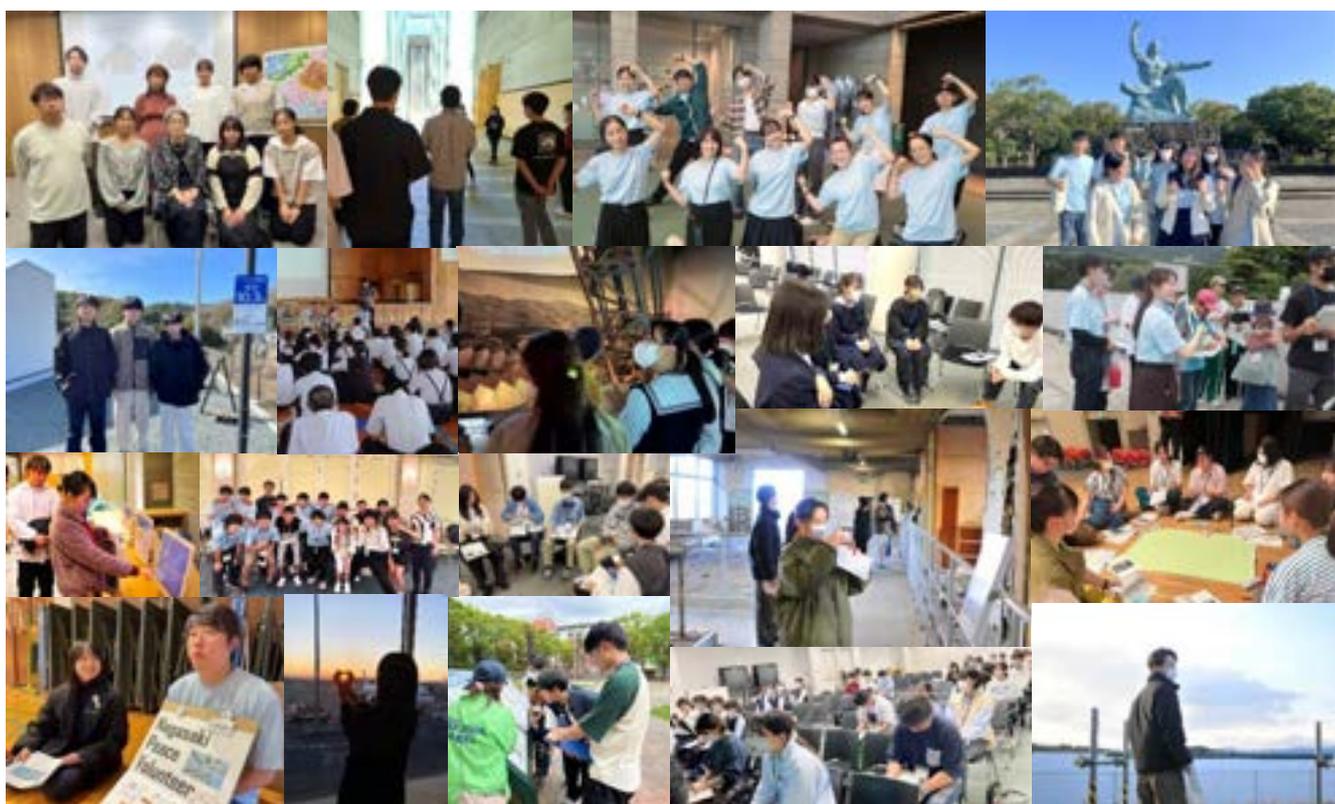
今後も、樹木めぐりや学習会を行う計画を立てています。

令和5年度 活動実績 (学習会、関連イベントへの参加など) 一部活動を除く。

	実施日	活動内容	場所	参加者
1	4/22(土)	オリエンテーション (午前の部)	原爆資料館 平和学習室/オンライン	29人
2	4/22(土)	オリエンテーション (午後の部)	原爆資料館 平和学習室/オンライン	20人
3	4/25(火)	長崎純心大学での広報活動	長崎純心大学	2人
4	5/20(土)	被爆体験講話・原爆資料館見学	原爆資料館 平和学習室/オンライン	42人
5	5/28(日)	被爆遺構等フィールドワーク	平和公園、浦上天主堂、 山王神社、平和学習室	26人
6	6/1(木)	出前講座企画 MTG ①	オンライン	5人
7	6/10(土)	青少年ピースフォーラム準備 ①	原爆資料館 平和学習室/オンライン	21人
8	6/13(火)	長崎県立大学での広報活動	長崎県立大学シーボルト校	1人
9	6/14(水)	長崎市立橘中学校 出前講座	長崎市立橘中学校 体育館	4人
10	6/18(日)	青少年ピースフォーラム準備 ②	原爆資料館 平和学習室/オンライン	19人
11	6/18(日)	出前講座企画 MTG ②	オンライン	3人
12	6/27(火)	長崎市立淵中学校 出前講座	長崎市立淵中学校 体育館	2人
13	6/29(木)	長崎市立緑が丘中学校 出前講座	長崎市立緑が丘中学校 体育館	3人
14	7/2(日)	青少年ピースフォーラム準備 ③	原爆資料館 平和学習室/オンライン	22人
15	7/3(月)	長崎市立桜馬場中学校 出前講座	長崎市立桜馬場中学校 2年生教室	3人
16	7/9(日)	青少年ピースフォーラム準備 ④	原爆資料館 平和学習室/オンライン	29人
17	7/16(日)	広島・長崎子ども会親善交歓会 事前研修での出前講義	長崎市役所2階 多目的スペース	1人
18	7/23(日)	青少年ピースフォーラム準備 ⑤	原爆資料館 平和学習室/オンライン	33人
19	7/29(土)	青少年ピースフォーラム準備 ⑥	平和会館ホールほか	36人
20	8/4(金)	青少年ピースフォーラム準備 ⑦	平和会館ホールほか	25人
21	8/6(日)	青少年ピースフォーラム リハーサル ①	平和会館ホールほか	48人
22	8/7(月)	青少年ピースフォーラム リハーサル ②	平和会館ホールほか	51人
23	8/7(月)	「ピースアクション in ナガサキ」 被爆遺構等ガイド	平和公園、浦上天主堂など	18人
24	8/8(火)	青少年ピースフォーラム 1日目	平和会館ホール、国立長崎原爆死没者追 悼平和祈念館/平和公園、浦上天主堂、山 王神社ほか	60人
25	8/18(金)	平和学習発表会	平和会館ホール	11人
26	8/18(金)	長崎国際平和映画祭での補助 ①	原爆資料館ホール、 原爆資料館 平和学習室	11人
27	8/19(土)	長崎国際平和映画祭での補助 ②	原爆資料館ホール、 原爆資料館 平和学習室	12人
28	9/9(土)	青少年ピースフォーラム振り返り等	平和会館 平和交流スペース/オンライン	8人
29	9/20(水)	長崎県立長崎特別支援学校 出前講座	長崎県立長崎特別支援学校 自立活動室	2人
30	10/14(土)	外国人による日本語弁論大会 会場サポート	国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 交流ラウンジ	2人
31	10/21(土)	追悼平和祈念館見学/自主企画	国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館、 平和会館 平和交流スペース	6人
32	10/21(土)	広島研修 事前学習会	平和会館 平和交流スペース/オンライン	8人

33	10/28(土)	市民大行進	平和公園、原爆落下中心地ほか	7人
34	10/28(土)	北九州市との交流	ANA クラウンプラザホテル 長崎グラバービル	11人
35	11/3(金・祝)～ 11/5(日)	広島研修	広島県広島市	8人
36	12/20(水)	福知山市との交流企画	オンライン	2人
37	12/27(水)	福知山市との交流	原爆資料館 平和学習室ほか	4人
38	1/16(火)	講義「写真で見る原爆投下時の長崎」	原爆資料館 平和学習室	2人
39	1/21(日)	ICAN 事務局長の講演会、交流会	原爆資料館ホール、平和学習室	7人
40	1/27(土)	講義「核抑止と国際法/原爆直後の救護活動と調査」	原爆資料館 平和学習室	14人
41	1/27(土)	福島研修 事前学習会	平和会館 平和交流スペース/オンライン	13人
42	2/3(土)	講義「科学から見た核兵器」	原爆資料館 平和学習室	3人
43	2/10(土)～ 2/12(月・振休)	福島研修	宮城県仙台市、福島県双葉郡・いわき市	12人
44	2/13(火)	若者による平和ネットワーク 構築プログラム サポート	国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館	6人
45	2/14(水)	若者による平和ネットワーク 構築プログラム サポート	国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館	5人
46	2/21(水)	自主企画：被爆樹木学習会	原爆資料館周辺	3人
47	2/27(火)	講義「原爆と報道」	原爆資料館 平和学習室	2人
48	3/3(日)	市民対象碑めぐり・広報写真撮影	山里地区ふれあいセンター、 赤城墓地、浦上天主堂ほか	6人
49	3/17(日)	1年の振り返り/新年度計画	平和会館 平和交流スペース	16人
50	3/23(土)	県外研修報告会	国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 交流ラウンジ	11人

計：50回 令和5年度 活動参加人数（延べ）：695人



Peace Volunteer
Since 2002



(公財)長崎平和推進協会

YouTube



Instagram



長崎市

長崎市の平和・原爆

Facebook



令和 5 年度

青少年ピースボランティア育成事業 報告書
お問い合わせ (公財) 長崎平和推進協会
所在地 〒852-8117
長崎市平野町 7 番 8 号
電話番号 095-844-9922
FAX 095-844-9961
E メール keishou@peace-wing-n.or.jp